あさひヶ丘

医療法人積仁会 旭ヶ丘病院広報誌

2017年 秋号 Vol.14

〒350-1211 埼玉県日高市大字森戸新田99-1 TEL 042-989-1121 FAX 042-989-6621

「表紙写真はアカツメクサ」

介護療養型老人保健施設
あさひヶ丘

訪問看護サービス
あさひヶ丘訪問看護ステーション

指定居宅介護支援事業所
あさひヶ丘ケアプランセンター

ホームページでは、
広報誌あさひヶ丘のバックナンバーを
スマホからでもご覧いただけます。
http://sekijinkai.or.jp/

2017年秋号・目次

新任医師紹介……2P
小児科受付・時間変更……2P
医師コラム「上部消化器疾患ついて」…3P
夏祭り／縁の下の力持ち……4P
委員会紹介[薬事審議委員会・輸血療法委員会]‥5P
あさひヶ丘ニュース
傾聴ボランティア「うさぎ」……6P
こども参観日……6P
知って得するシリーズ
[食の便り、お薬Q&A、訪問看護ステーション]…7P
前立腺がん検診について……8P
リハビリテーション科コラム「言語聴覚士の役割」……8P

新任医師紹介

このたび、7月より旭ヶ丘病院小児科の常勤医として入職しました西島茂智と申します。

出身地は山梨県で出身大学は山口大学医学部です。卒業後から小児科を希望し、都内の大学病院の医局で研修を積みました。その後は関東圏内のいくつかの総合病院の小児科に勤務し、現在に至っています。

家族は妻と中学2年の長女の3人です。自慢できるほどの趣味はありませんが、音楽鑑賞が好きで通勤中のカーステレオなどで好きな音楽を聴いています。

小児科は本来小児内科であり、内科同様にいくつかの専門分野に分かれていますが、私の場合は特に専門を極めることはせず、小児科一般を広く学ぶことにしました。

小児患者のうち殆どを占めるのは感冒などの感染症と気管支喘息などのアレルギー性疾患であり、その2項目については、今までの経験を生かして自信を持って診ることができます。

当院小児科は外来診療が中心ですが、血液検査、画像検査は充実していて、診察当日に結果もある程度わかるため、診断に大いに役立ちます。また、新薬の開発など医療の進歩もあり、一昔前なら入院しなければならなかったケースでも最近は外来通院で治すことが可能な疾患も多く見られます。今後は外来での対応をさらに充実して、できる限り入院はせずに、治癒を目指すような方針で行くつもりです。

まだ病院のシステムに充分慣れていないため、時間がかかりますが、徐々に改善するように努めますのでご協力お願いいたします。

人口5万人余りの日高市においては小児科のある総合病院は少ないと聞きましたが、思いのほか小児の外来患者数が多いのに驚いています。重責ではありますが、できるかぎり地域医療に貢献できたらと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

小児科医師　西島　茂智

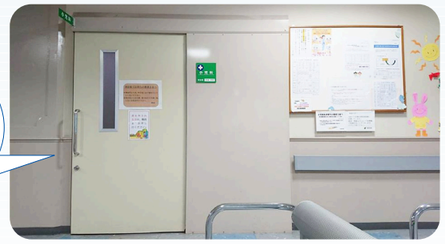
小児科受付及び受付時間変更のおしらせ

平成29年9月4日より、下記のとおり小児科の受付・診察室及び受付時間が変更となりました。
総合受付での受付から、東館入口正面に新しくできた小児科診察室窓口での受付へと変わりました。

【受付時間】 平　日　午前 8:30～11:30　午後 1:30～4:30
土　曜　午前 8:30～11:30

東館入口

小児科受付



診察口入口

待合室

上部消化器疾患について

内科・消化器内科
三村　澄江

上部消化管疾患（食道・胃・十二指腸）の疾患には、胃十二指腸炎、潰瘍、癌などがあります。

原因については、以前はストレス、煙草、アルコール、暴飲暴食と考えていました。

1983年に発見されたヘリコバクター・ピロリ菌が現在は最大の原因と考えるようになりました。

若年層は衛生環境の改善によりヘリコバクター・ピロリ菌の感染者は現在は減少しております。

感染時期は幼小児期で、感染者のほぼ100%が慢性胃炎になります。また潰瘍、癌、ポリープなどの発症リスクが高くなります。

保険診療でヘリコバクター・ピロリ菌の診断には、先に内視鏡検査を行います。内視鏡検査をしない場合、ピロリ菌の感染診断を保険診療で行うことができません。

ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療は3種類の内服を1週間で92.6%除菌成功します。除菌不成功の場合は内服を変更し、再度1週間で98%除菌成功します。

ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌後は胃癌発生を抑制しますが、胃癌になることもあります。

慢性胃炎の定期的な内視鏡の検査を検討してください。

ヘリコバクター・ピロリ菌に感染してない場合も胃癌の発生があります。また胃食道逆流症（食道炎）や器質的疾患がなくても胸やけや胃もたれのある機能性ディスペプシアという疾患もあります。

当院では経鼻と経口内視鏡のどちらも検査が可能です。

現在は月曜日から木曜日の週4日の平日午前中のみで予約が可能です。

胸やけや胃もたれなどの症状が気になる方は外来受診で御相談ください。

上部内視鏡検査

胃・十二指腸潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ菌感染胃炎など診断

⇩

ヘリコバクター・ピロリ菌の感染診断
抗体測定、培養法、鏡検法、ウレアーゼ試験法、尿素呼気試験、便中抗原
陽性の場合はヘリコバクター・ピロリ菌の一次除菌
一次除菌:抗生剤2種類と制酸剤の3剤併用を1週間内服

⇩

除菌治療薬剤投与終了後4週以降
除菌判定：尿素呼気試験(空腹で外来受診、呼気採取2回)

⇩

1週間以降に結果説明で外来受診
陰性→定期的な上部内視鏡検査を検討

尿素呼気試験

夏祭り

8月26日（土）に、病院・老健合同の夏祭りが行われました。夏祭りは、毎年恒例の行事になっていますが、今年は昼間の開催でした。心配されていた雨も降らず、暑すぎることもなく、多くの患者様、利用者様に楽しんでいただけました。みのり会の盆踊り、和太鼓に神輿の舞。とても盛り上がりました。ヨーヨー釣り、ストラックアウト、輪投げ、射的の遊びも楽しんでいました。今年初出店のチョコバナナ、フランクフルト、つくねも大好評でした。来年も、患者様、利用者様の笑顔が見られるような夏祭りを行って行きたいと思っています。

旭ヶ丘病院の縁の下の力持ち

日頃、患者さんとはあまり接点はありませんが裏方として旭ヶ丘病院を支えてくれている頼もしい存在。

仕事は多岐に渡り大工仕事、機械のメンテナンスや備品の修理、不用品の廃棄、病院の環境整備など様々な仕事をこなし患者様がより過ごしやすい様、職員みんなの助けになれる様に毎日朝早くに出勤し院内を飛び回っております。

また職員からの信頼も厚く、困った事があるといつも相談・頼みごとをしており、みんなからとても頼りにされています。

休日は少年野球の審判員としての活動もしているんですよ。

営繕　　坂上　文孝

委員会紹介

薬事審議委員会

薬事審議委員会では、病院における医薬品の新規採用や削除を審議し、患者様に安全・安心して投薬を行えるかを審議・決定しております。

委員会は、病院長はじめ医師、薬剤師、事務で構成されており、月1回定期開催しております。

新規採用薬に関しては、患者様の病状に合わせ主治医が、次回の薬事審議委員会（以下「薬審」）までに採用申請書を薬局に提出します。薬局は、委員会までに薬剤の効果、安全性、薬価等を調査し、委員会に諮ります。

委員会で審議の上、採用が決定すれば患者様への使用となります。

また、当院では新規採用以外にも既存の薬剤で効果が同じで、安価なジェネリック医薬品への切り替えも薬審で審議しております。

これは、国が警鐘を鳴らしている医療費高騰への歯止めとなるとともに、患者様の薬剤費への負担を軽減することで、より満足度の高い医療が提供できればと考えております。

輸血療法委員会

皆様が普段外出した際に、街中でよく『献血にご協力を！』というものを見聞きすると思います。そういった皆様の協力を、必要な患者様に治療として行っていることか輸血療法となります。

一言に「輸血」と言っても、患者様が必要とするものには様々な種類があります。代表的なものには赤血球輸血というものがありますが、この治療法は重度の貧血症状が出ている患者様や中等度以上の出血を伴う手術を行う患者様等に対して行います。しかし貧血の症状が出ているからといって、すぐに輸血療法の対象となるわけではありません。そのような症状がある場合、まず医師から鉄分を補強するお薬が処方されますが、そういったお薬では改善ができない場合などに初めて選択肢のひとつとなってきます。

そのような「薬剤の効果が期待できない」「出血がひどい」等の場合に行いますが、ただ単純に輸血をすればいいということではなく、大きな制約があります。いくら治療のためとは言っても「自分以外のヒトのもの」を体内に入れるのですから、当然拒絶反応があります。これらの検査をして、安全が確認されてから初めて治療として行えるのです。

輸血療法は大きな治療効果が期待できるものの、やはり『移植（血液細胞の移植）』による治療ですので、間違いの許されないものとなります。

当委員会では医師、看護師、薬剤師、検査技師と輸血に関わる職種を構成員とし、輸血療法の厳格な管理を行っています。委員会の開催頻度としては2ヶ月に1度ではありますが、開催頻度に関わらず、医師の輸血指示は妥当なのか、看護師の輸血実施時の手順や観察は妥当なのか、検査技師の輸血検査（交差適合試験）は適切にされているか等、都度厳しくチェックをしています。

また委員会開催時には前出のチェックだけではなく、月あたりの輸血実施状況を報告し、それに基づく輸血の妥当性を検討しています。過剰な輸血をなくすようにするのはもちろんのこと、輸血指示の出し方や輸血実施手順、検査実施手順等についてより良い方法やより安全な確認方法を検討しています。

先に述べましたとおり輸血療法は『移植による治療方法』です。そのため患者様ご自身の自己免疫における拒絶反応を100%回避することは難しいのが現状ではあります。しかし患者様には最小限のリスクで最大限の効果を得られるよう、現状に満足することなくより安全安心な方法を求めていきたいと思います。

血液製剤▲　　輸血用の血液を保存しています。▲

第4回「こども参観日」7月29日

今回で4回目を迎えたこども参観日、昨年に引き続き「ひ・まわり探検隊」を通し、高学年を中心に開催致しました。

AEDを使った心臓マッサージ体験をはじめ、内視鏡や器具など実際に手に触れることができました。放射線科のMRI室では、大きな磁石の力に驚きながらも目を輝かせながら話を聞いていました。

今後も子供達が医療への興味関心をより深めていけるような取り組みをしていきたいと思います。

心臓マッサージの体験

MRIの説明

傾聴ボランティア「うさぎ」

当院では、平成26年12月より傾聴ボランティアを導入しています。日高市社会福祉協議会の研修を受けた日高市傾聴ボランティアの「うさぎ」という団体です。月2回数名ずつ来られ、主に療養病棟の患者様を担当していただいています。

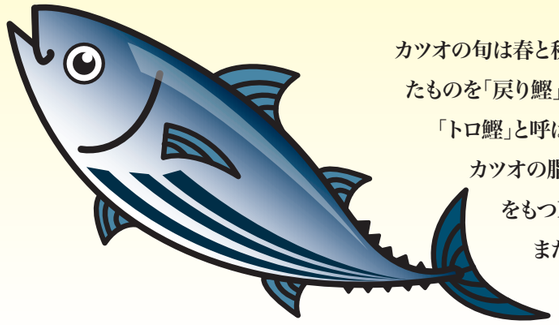
傾聴ボランティアは、「誰かに話を聴いてほしい」、「ありのままの自分を受けとめてほしい」、「誰かと時間を共有したい」、「不安や淋しさを聴いてほしい」などの希望のある方に、時間をかけてその方の都合に合わせて心をこめてお話を聴きます。

話を聴いてもらった患者様からは、最初は話す事がないと言っていた方でも「良く話を聴いてくれて楽しかった。次はいつ来るの?」、「誰にも話せないことを受け止めてくれた」という声がありました。

今後も傾聴ボランティアの方の手を借りながら、患者様に穏やかな入院生活を送って頂きたいと思っています。

食の便り

秋の味覚　『戻り鰹』



カツオの旬は春と秋の年2回あり春に漁獲したものを「初鰹」、秋に漁獲されたものを「戻り鰹」と呼びます。また、戻り鰹は初鰹に比べ脂がのっている為「トロ鰹」と呼ばれることもあります。

カツオの脂には脳の働きを良くしたりや血液をサラサラにする働きをもつDHAやEPAがたっぷり含まれています。

またカツオにはたんぱく質やビタミン、鉄分等も多く含まれておりダイエット中にもお勧めの魚です。

「薬のQ&A」シリーズ⑭

Q14　ジェネリック医薬品とは

A

効き目・安全性が新薬と同等であることを国が厳しく審査し承認された医薬品のことです。

ジェネリック医薬品は新薬に比べ3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。

薬を長期間服用する人には、医療費・家計負担をもっと軽くすることができます。当院でもジェネリック医薬品を推奨しています。

医師・薬剤師にご相談してください。

こんにちは、訪問看護です

✽私たち訪問看護では、生活の支援も行っています✽

☆自助具(自らを助ける道具)の作成

利用者様より「車いすに乗ったまま尿器で排尿したい」との希望がありました。車いすに乗ったまま尿器をあてて排尿できるように、リハビリスタッフと相談し更衣のしやすさを考え衣服の工夫をしました。

訪問看護では、状態観察だけでなく在宅での生活がより良くなるよう生活の支援も行っております。

✳<ご本人とご家族のお話>✳

車いすに座ったままズボンやパンツをおろすのが大変だったけど楽になり助かりました。

マジックテープで着脱が容易になったズボンや下着

＊健康問題や介護でお困りの方はお気軽にお問い合わせください!

TEL 042-989-7180(直通)

前立腺がん検診について

当院では日高市と飯能市で行っている前立腺がん検診を実施しております。55才以上が対象となっており、採血検査なので特定健診と一緒に受けることができます。

予約制となっており、受診期限もありますので、お早目の受診をお勧め致します。

健康管理部からのお知らせ

ご予約・お問い合わせ先
西館1階　健康管理部
042-989-0650(直通)

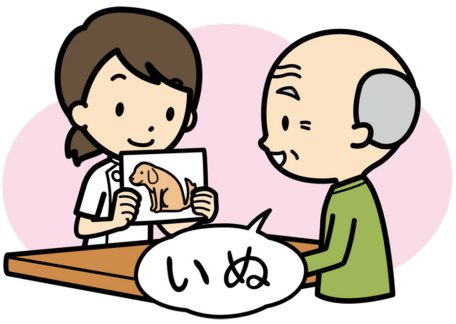
リハビリテーション科コラム

［言語聴覚士の役割］

話す、聞く、表現する、食べる・・・。誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。こうした、ことばによるコミュニケーションや嚥下（飲み込み）に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。

言語聴覚士は Speech-Language-Hearing Therapist (ST)と呼ばれています。

当院では主に成人領域の言語障害（上手く話せない、話が理解できない、文字が読めない）、音声障害（喉頭がんなどで声帯を失い声が出にくい）、嚥下障害（上手に噛めない、上手く飲み込めない）の方を対象としています。言語聴覚士は、こうした問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施。必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行う専門職です。

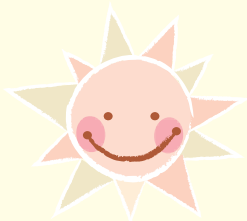


【予防接種に関するお知らせ】

当院では、予防接種は完全予約制（インフルエンザ予防接種を除く）となっています。予約のできる予防接種時間帯は
午前が9:00～9:30まで、午後が14:00～14:30までです。
（接種後の観察時間を考慮し、上記のとおりと致します。）

【予約方法】お電話（042-989-1121）にて、「予防接種の予約です。」と告げたうえ、担当者にお申し付け下さい。

【注 意】
❶予約に際し、特に小児科においては、接種年齢・他の予防接種を受けた場合の接種間隔等から、小児科医師の判断が必要な場合があり、お時間のかかる場合がございます。（直接、小児科医師にお電話を回す場合もございます）。
❷医師の問診・診察等にて、接種不適と判断され、予約日（＝接種日）当日に接種できない場合もありますので、御了承お願い致します。
❸予約時間までに来院できなかった場合は、再予約とさせて頂きます（キャンセルされる場合は、お早目にご連絡下さい）。



「相談しよう・そうしよう」

他の病院から転院を考えたい・治療費の心配がある・訪問診療を利用したい・介護保険制度や身体障害者制度について聞きたい等、患者様やご家族の入院・治療・療養に関するあらゆる疑問・相談に専任の医療ソーシャルワーカーがお応えしております。

お問い合わせ：地域医療連携室・医療福祉相談室
042-989-8624（直通）

保健医療機関・救急指定・労災指定
医療法人積仁会
旭ヶ丘病院
http://www.sekijinkai.or.jp/

〒350-1211　埼玉県日高市大字森戸新田99-1
TEL 042-989-1121　FAX 042-989-6621

外来診療受付時間
平日8:00～11:30・13:30～16:30　土曜8:00～11:30
午前の診療は9時から　午後の診療は14時からとなります。
土曜日午後及び日曜日・祝日は休診